

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	17	大学等名	阿南工業高等専門学校
テーマ	テーマⅡ 学修成果の可視化		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・学習管理システム（LMS）の効果的な利用により学生の主体的な学修を可能とし、学修成果の把握に関しても LMS の利用により多面的になされていることは評価できる。また、各種学生調査の実施や技術者が備えるべき分野横断的能力に関するルーブリックを作成していることも評価できる。各種事業目標も概ね目標を達成しており、とりわけ学生の授業外学修時間の大幅な増加は評価できる。
- ・学内の実施体制は校長の下に組織化され、精緻な自己評価に対する外部評価委員会による検証の体制も構築されていることは評価できる。教育改善のための PDCA サイクルは、教員、委員会、学校と3層から組織化され機能していることは評価できる。
- ・補助期間終了後も事業を継続的に実施する体制が構築されていることは評価できる。また、IR 担当教員を学内で育成して対応することとしており、資金面の継続性にも問題はないと判断できる。
- ・学外の多様な場（フォーラム、学会、報告会等）において取組の成果を報告し、学校の専用ホームページでの広報等を行っていることは評価できる。